

発行所

社団法人 埼玉県電業協会
〒336-0031 さいたま市南区
鹿手袋4-1-7(建産連会館内)
TEL 048(864)0385
URL <http://www.saidenkyo.jp/>
E-Mail kyokai@saidenkyo.jp

彩の耀

第162号
平成23年7月4日発行
発行人 萩野勝治
編集人 広報委員会
(委員長 町田浩征)
編集 日本工業経済新聞社
(埼玉建設新聞)

平成23年度通常総会



新しい一步を踏み出す
決意を述べた萩野会長

平成23年度通常総会が5月30日、さいたま新都心のホテルブリランテ武蔵野で開かれました。議案は一般社団法人への移行事項の承認案を含む全5議案が上程されました。

議事進行に先立ち萩野会長は、「会長職を仰せつかり1年。会員でいて良かったと言える協会を目指します」道半ばですが」と述べた上で、「①会員と非会員の差別化②年会費の減額③一般社団法人移行に向けての事業改革——を主要事業に、自らの手で自らの提案を以って新しい一步を歩まなければならない。そのための改革には諸問題を伴うが、今だからこそ出来るしやらなければならない」とあいさつしました。

総会議事は島村光正副会長を議長に選出。22年度事業報告ならびに同収入・支出決算の承認。23年度事業計画(案)および同収入・支出予算(案)とともに、一般社団法人への移行事項が上程され、慎重審議を経て全5議案が満場一致で可決・承認されました。

今年度は42人が受賞に輝く――

通常総会後には、上田清司埼玉県知事(渡部貞一県土整備部副部長代理出席)、国交省関東地方整備局下保修局長、関根宏県建産連会長ら多数を招いて懇親会が開かれました。席上、永年勤続者ならびに優秀技術者が受賞した優良従業員表彰式が行われ、

永年勤続者部門20年以上で17人、10年以上で19人、優秀技術者部門で6人がその栄誉に輝きました。

【永年勤続者部門 20年以上】 ▽イーテクノス(株)=横田計夫▽浦和電気工事(株)=浜田久男▽(株)岡村電機=河田茂雄▽小沢電気工事(株)=柿沼朱美▽国益電設工事(株)=石井隆哉▽埼玉電設(株)=新井浩▽佐野電機(株)=樋口綾子▽三位電気(株)=重田昌幸▽島村電業(株)=中田真一▽高山電設工業(株)=田中浩▽(株)電成社=大川和幸▽(株)東電工業社=山本年明▽中村電設工業(株)=八木橋照彦▽(株)万代電気工業=町田昌貴▽(株)松本電機=蛭名幸司▽(株)八洲電業社=白倉伸浩▽(株)ヤマト・イズミテクノス=河野政仁

【永年勤続者部門 10年以上】 ▽イーテクノス(株)=中田きょう子▽(株)市之瀬電設=相田裕章▽浦和電気工事(株)=齋藤昭▽(株)岡村電機=原口学▽(株)おぎでん=田中俊和▽小沢電気工事(株)=五十幡康弘▽埼玉電設(株)=羽鳥信行▽佐野電機(株)=里恵玲▽三位電機(株)=三浦康博▽(株)大広電気=金田健彦▽高山電設工業(株)=二瓶ゆり子▽(株)電成社=市川洋志▽(株)東電工業社=福島紀幸▽中村電設工業(株)=青木満▽那須電機工業(株)=渡辺雅俊▽浜野電設(株)=酒井晴夫▽(株)万代電気工業=石原宏▽(株)八洲電業社=遠藤悟▽(株)ヤマト・イズミテクノス=飯塚延康

【優秀技術者部門】

▽小沢電気工事(株)=山本和利▽瑞穂電設(株)=三品貴弘▽高山電設工業(株)=熊谷智哉▽埼玉電設(株)=菅原一彦▽(株)東電工業社=永井昭彦▽内山電設(株)=大橋昭夫



優良従業員永年勤続20年以上の受賞者

一般社団法人に向けて



平成20年12月1日に施行された新法による公益法人制度改革により、当協会も平成25年11月末までに新法人に至るため、その道のりを確実に歩んでいかなければなりません。このため、必要な手続きとして昨年の総会で新社団への移行方針の議案を上程、一般社団への承認を受けました。

本年度総会では、次の段階として定款・規程・公益目的事業・予算等審議すべき事項を提議しました。骨子として、事業については現社団法人を踏襲し、目的は「電気工事業及びその関連事業に関する諸問題の調査研究等を通して電気設備産業の発展を図り、

もって社会生活の安定、社会福祉の向上及び産業の振興に寄与すること」としています。各事項の詳細については、正副会長、常任理事、総務委員長からなる公益法人制度改革委員会にて、申請を目指し検討を重ねております。

この“一般社団法人”が選択された理由は、会員利益を高める事は勿論のことですが、これから電気設備業界全体の発展に貢献できる協会事業を考えると、事業運営に制約のある公益社団法人への選択の余地なしとして、総意を得たものです。

この大きな変革の中、公益法人の存在意義は、業界発展の担い手として進むべき道をいかに明確化していくかに懸かっています。それを見極め、行政との橋渡しとしての務めをもって、会員企業の地位向上となるため業務執行を進めていくのが一番と考え、日々邁進していかなければと考えております。

(事務局長 荒川清江=写真)

彩の耀に寄せて



田中市長



久喜市市章

久喜市の将来像である「豊かな未来を創造する個性輝く文化田園都市」にふさわしいデザインを一般公募したもので、市民アンケートにより平成22年11月7日制定。

久喜市の「久」の文字を基調に、未来への限りない夢と希望、市内を流れる河川の清き水と澄んだ空、豊かな恵みをもたらす田園、自然の木々や美しい草花を表し、都市と豊かな自然環境が調和し発展する久喜市を表現しています。

久喜市長

田中 暉二

はじめに、去る3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震において犠牲となられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災者の皆様に対しまして心からお見舞申し上げます。この震災では福島第一原発事故の影響により計画停電が実施され、私たち日本国民は「電気」がいかに日常生活に欠かせない重要なインフラであるかを再認識したところであります。

社団法人埼玉県電業協会の皆様におかれましては、日頃より電気工事に関する諸問題への取り組みと、電気設備産業の適正な運営と健全な発展にご尽力を賜り、社会生活の安定と市民福祉の向上にご貢献いただいておりますことに、心から敬意を表するとともに、深く感謝を申し上げる次第であります。

さて、本市は、「豊かな未来を創造する個性輝く文化田園都市」を将来像として、平成22年3月23日に旧久喜市、旧菖蒲町、旧栗橋町、旧鷺宮町の1市3町が合併して誕生しました。

私は、新「久喜市」の初代市長として、1市3町それぞれの歴史や文化を大切にしながら、地域特性を生かした一体的なまちづくりを進め、県東北部の拠点都市として、市民の皆様に「久喜市に住んでよかった」「これからも久喜市に住み続けたい」と実感していただけるまちづくりを目指しております。

そのために、「やしさ・あんしん・かいてき」の3つをまちづくり重点政策として位置づけまして、都市計画や福祉など各分野における様々な事業を推進しているところであります。

具体的な一つとして、地域医療ネットワークの充実があります。

本市には本年4月1日に地域医療支援病院を目指して開院した埼玉県厚生連久喜総合病院、県内8番目となる救命救急センターへの移行を前提として地

域救急センターの開設工事が進められている済生会栗橋病院の2つの総合的病院と多くの病院・診療所が存在しております。さらに、市内の小児病院が平成24年度開院を目指して整備される見込みとなっております。こうした多くの医療機関がもつ専門性や特徴、特色を活用した役割分担のもとに医療連携を図るため、市民の皆さんのが安心して暮らせるよう地域医療ネットワークの充実に努めてまいります。

また、地域経済の活性化にも積極的に取り組んでいます。

本市には、圏央道と東北道とが結節する久喜白岡ジャンクション及び東北道の久喜インターチェンジ、圏央道の白岡菖蒲インターチェンジがあり、広域的な交通利便性や産業立地の優位性が極めて高い位置にあります。

こうした利点を生かし、菖蒲北部地区、菖蒲南部産業団地地区の基盤整備の促進を図るとともに、清久工業団地周辺地区に新たな工業団地としての整備を進め、積極的に企業誘致を推進したところ、製造、食品、運輸などの多数の日本を代表する企業の進出が決定し、すでに工場等の施設の建設も始まっています。さらに、鷺宮南部地区においては、イトーヨーカドー系列のショッピングモールである「アリオ」の建設が今後予定されています。

本市は合併から1年余りが経過をいたしました。今後も15万7千市民から託された夢と期待に応えるために、市民の皆様とともに諸施策を積極的に進めてまいりますので、より一層のご支援御協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、社団法人埼玉県電業協会のますますのご発展と会員皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、あいさつといたします。

東日本大震災における協会の取り組みについて

この度の震災で、被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

また、一日も早く復興がなされることをお祈りいたします。

3月11日に発生した「東日本大震災」では、埼玉県内で最大震度6弱を宮代町で観測しました。当協会では、発生直後から埼玉県との「災害時における電気設備等の応急対策業務に関する協定」及び協会策定の「災害実働マニュアル」に基づき「災害対策本部」を立ち上げ、緊急連絡網で各支部の非常配備体制を整えました。通信網の混乱する中での作業は困難を極めました。県からの協力要請は週を明けてからも続き、対応に追われました。

東京電力の《計画停電》関係では、県以外に県警からも交通事故防止を未然に防ぐために発電機提供の要請があり、速やかに全面協力させていただきました。このことが評価され、4月25日に県警本部より感謝状をいただきました。

他にも何かお役に立てないかということで、地震で延期されていた3月理事会（3月29日開催）において義援金を募ること決めました。全会員（通常67社、賛助29社）へ呼び掛けたところ沢山のご協力をいただきました。4月7日、荻野会長が島村副会長、岡村副会長、荒川事務局長と共に埼玉県庁へ赴き、100万円の目録を日本赤十字社埼玉県支部長を努める上田清司知事に手渡しました。

当協会では、これからもライフル線の電気を通じ、県民の生命と財産を守り、安心・安全の提供に最大限お手伝いをしていきたいと考えております。

また、今回の震災を教訓に災害時の対応策についての見直しを早急に進め、更なる体制強化を図っているところです。



東北地方太平洋沖地震被災地調査に同行して

副会長 岡村 一巳

4月27・28日と(社)埼玉県電業協会の上部団体の(一社)日本電設工業協会の被災地調査団の一員として視察してきました。私たちが現地に行ったのは、被災から既に四十九日になり、バスから降りて見て回るということもほとんどない状況のなかでの感想を話したいと思います。テレビ映像で見ていることと間違ひではありません。自分の目で見るその迫力は、まさに「百聞は一見に如かず」でした。津波の持つ力のすごさに驚くばかりです。

仙台市若林区は仙台平野の田んぼに点在する住宅街と思われますが、高台はないのでどうすることもできなかったと思われました。それでも、ここはヘドロのような海のにおいのような臭気のすごいところでした。バスから降りなくとも分かりました。この近辺のキリンビルの工場は被災し、その近所の三井アウトレットモールには、震災翌日に多くの盗人が入ったそうです。日本人の心もブランド物のまえでは別なのでしょうか。

テレビで何度も見聞した南三陸町は、中心街に入る手前で道路補修、電柱の建柱が行われ、自衛隊員の活動する姿を今回始めて目にしました。活動といっても、ご遺体の搜索です。南三陸町 志津川のあたりの建物の破壊は、S造の建物の鉄骨を残すだけの惨状でした。しかし、街の中心を離れ道路をやや登っていくと一瞬のうちに景色は、3月11日前に戻ったようになります。

今回の東日本大震災、地震だけならそれほど

被害ではないです。盛岡市、遠野市でも大した被害はないようです。(社)岩手県電業協会の会長の話では、震災後3日間ぐらい停電し、その後海側にあんな大きな津波が街を襲ったと初めて知ったそうです。当事者の近くほど情報がないものだと感じました。津波の被害にあったところでも、僅か1メートル高いところの家々は、何事もなかったように土手には芝桜やスイセンの花が咲き桜も満開のところが多く、生死分けたそのギャップに表現のしようがありません。マスコミの報道では、壊滅状態の○○市といいますが、大変なことには間違いありませんが、すべてがなくなっているわけではないのですから、時間はかかるでしょうが、形を変えながら必ず復興してくると感じました。

もし、「復興特需」なるものがあるのなら、東北の方がその恩恵を最優先に享受し、それをてこにして、雇用、街の復興を進め、日本の目指すべき地域の姿になってもらいたいと思いました。



震災地風景

〈被災地調査行程表〉

2011.4.27 (木)	仙台	㈱ユアテック本社集合、出発
↓	仙台市若林区	
	南三陸町	R 4.5 総曲
	気仙沼市	R 2.8 4 総曲
	一岡市	
	福岡市	東北自動車道経由
	宮城県	本郷、岩手、宮城電業協会合同対策会議
2011.4.28 (木)	盛岡市発	青葉電業協会会場
↓		R 3.9 6.1 10.7 総曲
	大船渡市	陸前高田市
		R 2.4 3. 4.5 6 総曲
	一岡市	
	仙台駅	東北自動車道経由

「キャリアルート」の取組について

人材育成委員：積田 優（株積田電業社）

企業経営の4大要素は、『人、物、金、情報』と言わされており、その中でも一番重要なのは『人』＝“人材”と考えております。当協会では、この言葉に注目し、電気設備工事業界全体の主要課題でもある人材確保・育成に特化した「人材育成委員会」を設置し、活動を進めております。

人材確保の観点から業界のPRを兼ねて、今年もGW明けより県内の電気関係の学部・学科を有する技術系の学校訪問を行いました。業務ご多忙の中、ご対応いただきました先生方には厚くお礼申し上げます。今後ともご指導、ご協力の程宜しくお願ひ申し上げます。

就職の進路指導の際、会社選びに迷っている生徒に「自分の将来像が描ける会社を選ぶように」とアドバイスすることがあるという話を伺った事があります。当委員会でも、電設工事に従事する者の職務内容とライフプランを考えながら、どのようにキャリア（技術力）を高めていたら良いかを示すものがあります。それが「キャリアルート」の構築です。

様々な縁により入社された新入社員は、企業にとって宝であります。企業側は「この社員に5年後はどの様な立場で、どんな仕事をしていく欲しいか。10年後は、・・・」と考えます。その構想を実現するためには、《技術力向上》と《人間力向上》の育成が重要であり、

そのためにはどのような環境を整備していかなければならぬかの検討を重ねております。

人材の育成は、中長期的な視点で、計画性を持って取り組んでいかなければなりません。近年、電気設備工事の内容も多種多様化しており、社員の《技術力向上》は必須項目であります。各々の職務や年数、経験に応じたスキルアップの講習会や資格取得のための支援事業を計画実行していくことが肝心です。現在、当協会では、新入社員研修会を始め、技術講習会、各種資格試験対策講習会などを実施しております。

また、ベストな仕事をするためには、人との繋がりが重要です。《人間力向上》とは、高いモチベーション、自己理解、表現力、コミュニケーション能力を身につける事です。これにより、人への感謝の気持ちや信頼関係の大切さを認識し、良好な人間関係が築けるようになると思います。当社でも、研修や行事を開催し、社内コミュニケーションを図る場を作っております。

企業は、人の能力を伸ばし、キャリアを形成するために必要な環境を整える必要があると思います。「会社の発展は、社員の成長なくして、成し遂げられない」のですから。

新入社員研修会

31人に修了証と安全衛生手帳

企業対策委員会事業である『新入社員研修会』は「雇い入れ時の安全教育」に特化して、4月5日・6日の2日間の日程で開催されました。開講の挨拶では熊田企業対策委員長が「“安全は企業の大きな営業力”ということを常に意識し、習得した知識を大いに役立て欲しい」とエールを送りました。最終日には受講生に、講師を務めたケイ・教育企画サポート事務所の小泉一夫所長より、修了証となる安全衛生手帳が授与されました。

修了式を前に受講生を代表して、島村電業の島地瞳さんは「事務職での仕事ですが、現場で働く人たちに安心・安全の提供とサポートが出来ればと思います」と。

また、大塚電設の大塚亮さんは、「2日間の研修で得た知識を現場で生かしていきたい」と、研修を終えた感想と明日から取り組む気持ちを述べました。

最後に小泉講師は、「2日間で学んだ知識を各職場で実行に移し、安全最優先で災害に遭わないよう目標を持って仕事に励んで欲しい」と、今後の心構えを伝え、閉講しました。

事業要



安全教育を終えた31人の新人

資格取得支援事業の強化

技術研究委員会では“1級電気工事施工管理技士”及び“第二種電気工事士”的資格について、会員企業の有資格者数の増員のためだけでなく、電気工事について広く一般への啓蒙・普及活動の一環事業として、会員企業社員以外に一般からも受け入れをして、試験対策講習会を開いております。

最初に開催したのは、『1級電気工事施工管理技術検定試験受検準備講習会（学科コース）』です。

この講習会は6月に行われる学科試験に向けての対策で、建産連研修センターを会場に4月・5月の2ヶ月間にわたり5日間の日程で行われました。受講した21人は、模擬試験（過去問）と個人指導を中心に重要ポイントを、講義の中で繰り返し勉強しました。

次に、4月23日に『第二種電気工事士試験対策講習会』を大宮ソニックスで開きました。

この講習会は上期筆記試験の対策を1日で行うものです。講師の説く“出題頻度”“重要度”的高い順から学び、合格を確実なものとする勉強法等のノウハウをしっかりと伝授しました。受講生には「斬新、理解し易かった」と好評でした。

事業要



北部支部でのロードサポート

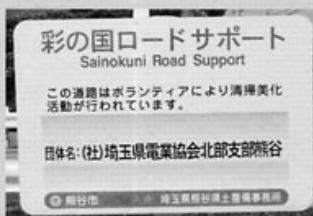
協会だより
北部支部

北部支部長 株熊谷電機 代表取締役 小林弥寿弘

近頃、県道の途中にこんな標示板をよく見かけると思います。彩の国ロードサポートを示す案内です。埼玉県でロードサポートの制度がスタートしたのは平成14年です。その翌年15年から北部支部では認定を受け、活動を始めました。平成23年4月1日現在では、531団体22,000人が参加をしているそうです。

発足時においては、「クリーンロードクラブ」と名付け活動を続けていましたが、熊谷だけでなく東松山市土管内、そして本庄市土管内と活動の場を拡げたことや埼玉県電業協会の活動であることを前面に出し、責任を持って活動する意思表示として、平成22年4月より「(社)埼玉県電業協会北部支部熊谷」と改名し道路標示板を変えて活動を続けています。

県道太田熊谷線で熊谷市桜町から肥塚地内ま



での約2kmの間を受け持ち、道路の美化清掃を目的とし、草むしり、空き缶ゴミ拾い活動を行っています。ゴミの焼却場等の受入れの連絡窓口となっている熊谷市役所の建設部維持課のみなさまのおかげで処理場への搬入もスムーズに行えます。また、集合場所で駐車場を貸していただいているガスト熊谷肥塚店のご協力に感謝します。作業後の会員同士の懇親の場としても楽しく有意義に今後も続けて行きたいと思います。他の支部に於いても参加グループが増えており、電業協会全体としての活動の一環となってきていることを嬉しく思います。



東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)

株三進電気工事 代表取締役 矢部二治男

まずは今回、東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)において、多くの被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

3月11日14時46分頃に、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震が発生しました。太平洋沿岸を中心に高い津波を観測し、特に東北地方から関東地方の太平洋沿岸では大きな被害がありました。埼玉県にも今なお、加須市の旧騎西高校に多くの福島県双葉町民が集団避難しています。そして、今回の最も被害が大きかったのは、東京電力福島第一原子力発電所ではないでしょうか。東京電力により3月14日から各所において[計画停電]が始まり、電気の大切さを今一度改めて考え直しました。現在は、各企業、大口契約の工場等で電気の使用を控え、各家庭においても節電のご協力に伴い、[計画停電]も5月中までほとんど実施されない状況です。

これから5年～10年は、社会全体で限られたエネルギー、電力の需給に対して、いち早く問題解決

に対して考えなければ、国民生活において大きな問題になると思います。まずは、自分の出来ることから会社、家庭で節電に協力していきたいと思います。

私ごとですが、今回被災地に送るため新品タオル類、使い捨てカイロ、子供服、トランプ等を「あげおげんきネットワーク」のみんなと上尾駅でピラを配り、回収させて頂き、山形県山形市内と岩手県北上市内に多くの支援物資を送らせていただきました。まだまだ日本も捨てたものじゃないと思いました。小さな子から80代くらいのお年寄りまで、タオル2,3枚からでもバスに乗って上尾駅まで届けてくれる。「こんな物でもいいですか」と言って持つて来てくれる。ありがとうございました。助け合いの心をもって東北地方の復興にあたりみんなで頑張りましょう。



協会のうごき

4月

- 4~5日 平成23年度新入社員研修会
- 7日 義援金贈呈
- 8日 新年度県庁挨拶回り
- 11日 広報委員会
- 13日 事故防止対策委員会
- 18日 人材育成小委員会(キャリアルート)
人材育成委員会
- 20日 第1回理事会
- 21日 1級電気工事施工管理技術検定試験
受験準備講習会(学科コース)1/5
- 23日 第二種電気工事士試験対策講習会(上期筆記)
- 25日 県警より感謝状授与
- 26日 決算監査
- 28日 1級電気工事施工管理技術検定試験

受験準備講習会(学科コース)2/5**5月**

- 10日 第1回公益法人制度改革委員会
- 12日 1級電気工事施工管理技術検定試験
受験準備講習会(学科コース)3/5
- 17日 第2回協会理事会
- 18日 人材育成小委員会(キャリアルート)
人材育成委員会
- 19日 1級電気工事施工管理技術検定試験
受験準備講習会(学科コース)4/5
- 24~25日 職長教育
- 26日 1級電気工事施工管理技術検定試験
受験準備講習会(学科コース)5/5
- 30日 第3回協会理事会

**平成23年度通常総会/懇親会
優良従業員表彰式****6月**

- 8日 人材育成小委員会(キャリアルート)
人材育成委員会
- 21日 第4回理事会

7月

- 6日 安全大会
- 9日 第二種電気工事士試験対策講習会(上期技能)
- 15日 人材育成委員会
- 19日 第5回協会理事会
- 21日 技術講習会①
- 28日 経営者セミナー

(社)埼玉県電業協会会員**支部長○ 副支部長○****さいたま支部 (15社)**

- 旭電気工業株(大宮区)
- 浦和電気工事株(南区)
- 大塚電設株(浦和区)
- 株岡村電機(緑区)
- 国益電設工事株(南区)
- 埼玉電設株(中央区)

(さいたま市)

**三洋電設株(南区)**

- 新生電気工事株(見沼区)
- 竹内電気株(岩槻区)
- 株積田電業社(浦和区)
- 中村電設工業株(見沼区)
- 浜野電設株(北区)
- 株万代電気工業(桜区)
- 瑞穂電設株(北区)
- 株八洲電業社(北区)

東部支部 (10社)

- 株内田電気商会(久喜市)
- 株大久保電気(越谷市)
- 株三進電気工事(上尾市)
- 島村電業株(上尾市)
- 株新電気(三郷市)
- 株大広電気(八潮市)
- 大洋電設工業株(越谷市)
- 株高岡電気工業(松伏町)
- 野口電気工事株(越谷市)
- 株弓木電設社(白岡町)

西部支部 (16社)

- 株新井電機(飯能市)
- 飯島電器工事株(川越市)
- 株市之瀬電設(志木市)
- 株岡島電気商会(川越市)
- 株おぎでん(川越市)
- 熊田電気工事株(狭山市)
- 株三共電気商会(和光市)
- 株関根電気商会(川越市)
- 相馬電業株(和光市)
- 株電成社(川越市)
- 橋電株(所沢市)
- 株橋本電工(所沢市)
- フジヤ電気工事株(川越市)
- 株松本電機(和光市)
- 株明電社(川越市)
- 株ヤマト・イズミテクノス(ふじみ野市)

三位電気株(川口市)

高山電設工業株(川口市)
株田部井電気(鳩ヶ谷市)
釣谷電機株(川口市)
○那須電機工業株(川口市)

北部支部 (16社)

- イーテクノス株(熊谷市)
- 株エコー(深谷市)
- 岡根電気工事株(本庄市)
- 小沢電気工事株(行田市)
- 共和電機株(秩父市)
- 熊谷電機株(熊谷市)
- 株栗原電機(深谷市)
- 霜田電気株(皆野市)
- 中外電気工業株(深谷市)
- 株東電工業社(熊谷市)
- 株長井電機(熊谷市)
- 株沼尻電気工事(深谷市)
- 株早川電工(行田市)
- 松山電設株(東松山市)
- ムサシ電機工業株(行田市)
- 株躍進電気(深谷市)

南部支部 (10社)

- 内山電設株(川口市)
- 株奥富電気工事(川口市)
- 川島電気株(川口市)
- 株佐久間電設(川口市)
- 佐野電機株(川口市)

雇用・能力開発機構では、雇用管理に関する事業を行っており、公的資格取得や能力開発のための各種事業及び助成金を行っていますので、お気軽に協会窓口まで、ご相談下さい。

独立行政法人 雇用・能力開発機構埼玉センター**〈雇用開発業務〉**

良好な雇用機会の創出と雇用環境の改善を図るため、新分野進出の支援をはじめ雇用管理全般の相談・情報提供等を行うほか関連の助成金支給や勤労者の財産形成促進等を業務としています。

〈能力開発業務〉

離職者のための機動的な委託訓練コースや在職者に対する能力開発セミナーなど職業訓練を実施するとともにキャリア形成に関する相談・情報提供、助成金支給等を業務としています。

◆電話 048-882-4164 [建設労働・財形担当]

◆FAX 048-882-4166

◆所在地 〒336-0931 さいたま市緑区原山2-18-8